

# 日本地衣学会 No.177 ニュースレター

Newsletter from the Japanese Society for Lichenology

## 目次

会務報告	699
日本地衣学会評議員会（メール会議：2024年3月22日～4月1日） 議事録／坂田 歩美	699
会員通信	700
シアトルの都市公園および原生的な森林に生育する <i>Lobaria</i> ／杉本 廉	700

## 会務報告 *Reports of the JSL Activities*

### 日本地衣学会評議員会（メール会議：2024年3月22日～4月1日）議事録

*Report of the JSL Councilors' Meeting on E-mail, 22 Mar. – 1 Apr. 2024 / by SAKATA Ayumi*

>>>>>>> 坂田 歩美：庶務幹事

開催期間：2024（令和6）年3月22日（金）～4月1日（月）

参加者（敬称略）：（議長）坂東誠，（評議員）河崎衣美，木下靖浩，小峰正史，清水公徳，中嶋裕之，（会長）木下薫，（幹事）坂田歩美，小杉真貴子，（編集委員長）綿貫攻

\* \* \*

日本分類学会連合から審議を依頼された科学研究費助成事業の全体額増加に関する要望書と署名サイトに

についての審議が行われ，（1）要望書の趣旨に賛同すること，（2）署名サイトへの提案者として学協会団体の名前を連ねること，（3）各学協会団体のホームページや SNS サイトに署名サイトについての呼びかけを載せることの3点について賛成・同意することが，審議に参加した議決権を有する方全員によって承認されました。

## シアトルの都市公園および原生的な森林に生育する *Lobaria*

*Lobaria in the Urban Parks and Old-Growth Forests in Seattle* / by SUGIMOTO Ren

>>>>>>> 杉本 廉：神戸大学大学院農学研究科 博士課程後期課程1年生

2024年2月中旬から3月下旬まで、アメリカ合衆国ワシントン州のシアトルにあるワシントン大学植物標本庫へのインターンシップの機会をいただきましたので滞在中の出来事についてご報告します。

シアトルはアメリカ北西海岸に位置する都市で、いわゆる Pacific Northwest (PNW) と呼ばれる地域に含まれています。PNW にはアメリカトガサウラ (*Pseudotsuga menziesii*) やアメリカツガ (*Tsuga heterophylla*)、ヒロハカエデ (*Acer macrophyllum*) などの巨樹で構成された原生的な森林が残されており、地衣類が豊富です。そのため、PNW では地衣類が森林生態系の重要な構成要素のひとつとして扱われ、特に大型地衣類の生態学的研究が数多く行われてきました。私自身、地衣類の生態学的研究をおこなっていますので、その聖地のような地域でのインターンシップは非常に心躍るものでした。

普段はワシントン大学の植物標本庫で標本観察などの室内作業をし、空き時間には地衣類を探しつつ、シアトル中心部から半径約10km内にある都市公園をいくつか散策しました。都市公園と言っても、人工的に造成したものだけでなく原生的な森林がほぼ手付かずで残っているようなものもありました。まず、多くの公園で樹状地衣を観察できたことに驚きました(図1)。日本の都市公園ではあまり見かけない光景です。さらに驚いたことに、複数の公園で *Lobaria* を観察することができました(図2)。*Lobaria* の多くの種は原生的な森林に生育するため、健全な生態系の指標となると言われています。シアトルは地衣類にとっても住み



図1. 樹状地衣が山盛りの枝。



図2. 公園のツツジに *L.pulmonaria* が、不思議・・・。

よい街なのかなと感じました。

幸いにも、都市公園だけでなくより広大で原生的な森林の残る、ワシントン州南部のギフォード・ピンシヨ一国有林と州西部のオリンピック半島を訪れる機会も得られました。PNW の自然や地衣類の豊富さについ



図3. アメリカトガサワラの原生林、ずっと居たい。



図4. 樹木全体を覆う *Lobaria*.

ては文献で読んでいたものの、樹高 60~70m のアメリカトガサワラが林立する原生林 (図 3) や、樹体全体が *Lobaria* に覆われた樹木を実際に目の当たりにして圧倒されました (図 4)。また、林床のそこら中に林冠から脱落した *Lobaria*、「Stray *Lobaria*」を見つけることができ (図 5)、生態学的研究が盛んであることにも納得しました。

1 ヶ月間と短い期間でしたが、貴重な経験がたくさん詰まった滞在でした。次は自分の研究の調査地としてシアトルに帰りしたいと思います。

\* \* \*

Last but not least, I would like to thank Ms. Katherine Glew, Mr. David Giblin, Mr. Russel Kramer, Ms. Hannah Prather, Mr. Peter Ricci and Ms. Susan Ridgley for all their help during my stay.



図5. 林床に落ちた北米固有種 *Lobregana* の塊。

---

## ◆原稿募集

本誌は、会員からの原稿を随時募集しています。地衣類にまつわるエピソード、思い出、あるいは地衣類に関する写真とタイトル、簡単な説明文だけでも受け付けます。電子メールにて次のアドレス宛に投稿御願います：  
bandomakoto@aa6.mopera.ne.jp（坂東 誠）

## ●複写される方へ

本誌に掲載された著作物を複写したい方は、(社)日本複写権センターと包括複写許諾契約を締結されている企業の従業員以外は、図書館も著作権者から複写権等の行使の委託を受けている次の団体からの許諾を受けてください。著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、直接本会へご連絡ください。

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル 学術著作権協会。

Tel: 03-3475-5618. Fax: 03-3475-5619.

E-mail: naka-atsu@muj.biglobe.ne.jp

アメリカ合衆国における複写については、次に連絡してください。

Copyright Clearance Center, Inc. 222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA.

Phone: (978) 750-8400. Fax: (978) 750-4744

## ●Notice about photocopying

In order to photocopy any work from this publication, you or your organization must obtain permission from the following organization which has been delegated for copyright for clearance by the Japanese Society for Lichenology.

Except in the U.S.A.: Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC).  
6-41 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo 107-0052  
Japan. Tel: 81-3-3475-5618. Fax: 81-3-3475-5619.  
E-mail: naka-atsu@muj.biglobe.ne.jp

In the U.S.A.: Copyright Clearance Center, Inc. 222  
Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA. Phone:  
(978) 750-8400. Fax: (978) 750-4744.

●*Newsletter from the Japanese Society for Lichenology*, no. 177, pp. 699–702: eds. Bando M., Kawasaki E., Tanaka K., published by *the Japanese Society for Lichenology*, 22 May 2024.

---

日本地衣学会ニュースレター177号

発行日：2024年5月22日

編集：坂東誠・河崎衣美・田中慶太

発行者・発行所：日本地衣学会

〒260-8682 千葉市中央区青葉町955-2

千葉県立中央博物館内

---

---

©2024日本地衣学会 (© 2024 The Japanese Society for Lichenology)

本誌記事の著作権は日本地衣学会に属します。無断転載・無断複写等は固くお断りいたします。